事業者排出量削減報告書

(宛 先) 京都市長			平成 25年 7月18日								
報告者の住所(法)		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名)									
京都市伏見区日野西		医療法人 新生十全会									
		理事長 赤木 博									
		電話 075-572-0634									
主たる業種	病院					細分類	番号	8	3	1 1	
				フア		A11-50 754	, ш		_		
+*** * ° E V	京都市地球温暖化対策条例第2条第		_								
事業者の区分	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										
	ニエ										
計 画 期 間	平成23年4月から平成26年3月まで										
基 本 方 針	平成22年度の温室効果ガス排出量を基準とし、計画期間中に3%以上削減する。										
31 31 3 44 14 14 1 2 2 2											
計画を推進するための体制	事務局を中心とし、各部署との連携を図り温暖化対策に取組む。										
Ø30714年前		甘淮左庄	25	1 左座	第0年	年 答った	二年				
温室効果ガスの排	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22) 年度		1 年度 3) 年度	第2年 (24)年			増	減	率	
	事業活動に伴う排出の量		8, 02		, 510. 8	トン トン	トン	-4. 4		パーセント	
	評価の対象となる排出の量	-	8, 02		, 510. 8	トン	トン	-1. 8		パーセント	
出の量	計画の対象となる排画の重										
	実績に対する自己評価	前年度に引き続き 度の厳守・不在時									
	伴う温室効果ガス排出量の増減率は-4.3%となった。										
原単位当たりの温 室効果ガス排出量 等	事業の用に供す 原 単 位 の 指 標	基準年度		1年度	第2年月			増	減	率	
	る建築物の用途 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(22) 年度	(2	3) 年度	(24) 年	度 (25)	年度	- 11	174		
	病院 <u>事業活動に伴う排出の量</u> (延床面積×1/10)	1.67		1.65	1.	54		-4.49		パーセント	
	事業活動に伴う排出の量										
	()									パーセント	
		上記〈温室効果ガス	の排と	出量宝績に対す	る自己評価	>同様 原単位:	当たりの	温室効果が	ブス排	出量す	
	実績に対する自己評価	4.19%の削減を達	成した	•		71.4 lace 7/1-122-	4767.2	IIII 12/90/10/	, , , , , ,	<u> </u>	
_		基準年度	第	1年度	第2年月	度 第3年	F度	備		考	
重点的に実施する取組の実施状況		(22) 年度	(2	3) 年度	(24) 年	度 (25)	年度	7/用		5	
		28. 0	28.0	パー セント 5		!— !ント	バー セント				
具体的な取組及び 措置の内容	(23) 年度	照明:間引き、休	憩時間	不在時の消息	灯を徹底した	と。空調機器: i	運転スケ	ジュールの	設定	、設定	
	(23) 牛及	応変に	対応)、不在時	時の機器停」	上を行った。						
				、照明の間引きや不在時の消灯の徹底、空調の設定温度の厳守等。厨房の改修							
	に伴う調理機器設備の更新、厨房内照明器具のLED化等によるエネルギー削減を行った。										
	(25) 年度										
通勤における自己 の自動車等を使用 することを控えさ せるために実施し た措置	措 置 の 内 容	小	共交通機関の利用の推進及びエコドライブの励行								
		ム六×四(及民ツ州川ツ)出海区(シュードノイノツ)別(1)									
		勤務形態より完全なノーマイカーデーの実現は出来ない為、上記の措置									
/二1日 匝	己評価	内容を採用す									
森林の保全及び整備,再生可能エネルギーの利用その	Б /\	第1年度		第2年	三度	第3年月	隻	備		考	
	区 分	(23) 年度	Ę	(24)	年度	(25) 年	度	7/11		5	
	森林の保全及び整備によるもの	0.0	トン	0.	0 トン		トン				
	地域産木材の利用によるもの	0.0	トン	0.	0 トン		トン				
	再生可能エネルギーを利用した電力又										
	は熱の供給によるもの	0.0	トン	0.	0 トン		トン				
他の地球温暖化対 策により削減した					_						
量	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0	トン	0.	0 トン		トン				
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の	0.0	7 .		0 7 .		, ,				
	量の購入によるもの	0.0	トン	0.	0 トン		トン				
	合計	0.0	トン	0.	0 トン	0.0	トン				
地球温暖化対策に					<u> </u>						
	特になし										
動											
特記事項											

- 注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。